

家族と暮らせない子どもたちのために

第5回

「もうひとつの絆」

フォーラム

共催：宮城県なごみの会・仙台市ほほえみの会・子どもの村東北・
子どもの村福岡・宮城県・仙台市

2014年

2月8日(土) 13:00▶16:30

参加費：無料 託児あり 申込裏面

せんだいメディアテーク スタジオシアター(7F)

仙台市青葉区春日町2-1

基調報告 「里親さんを待っている子どもたち」
仙台市児童相談所より

基調講演 「昨日より明日はもっと家族」

大学生の里子さんからのお話もあります!

講師：坂本 洋子

・東京都小規模住居型児童養育事業「坂本ファミリー」養育者
・里親ひろば ほいっぷ代表
2013年までの28年間で16人の里子を受託。
現在は3歳から18歳までの6人の子どもと暮らす。

1985年 東京都養育家庭里親に登録し最初の里子を迎える。1999年(平成11年1月1日)ファミリーホームに認定される。2002年、石原慎太郎東京都知事 坂本家視察。本を出すことをすすめられる。2002年、日東京都功労者表彰。2003年「ぶどうの木」(幻冬舎)出版、フジテレビにてドラマ「ぶどうの木」放送。2004年「丘の上の家」(幻冬舎)出版。2007年、厚生労働大臣表彰。2008年「わたしたち里親家族～あなたに会えてよかった～」(明石書店)編著。2009年4月東京都小規模住居型児童養育事業(第二種社会福祉事業)に移行「坂本ファミリー」となる。

トークセッション：「私の里親家族」(里親さん×山崎剛 みやぎ心のケアセンター副センター長)

交流会 17:30～19:30 一人4000円 (場所は当日お知らせします)

第5回「もうひとつの絆」フォーラム

「もうひとつの絆プロジェクト」とは・・・

東日本大震災では、1700名を超える子どもたちが親を亡くしました。また、親の病気や死亡・育児放棄や虐待など様々な理由で家族と暮らせない子どもたちは、全国で4万7000人を超えています。

実家族との「絆」と、里親さんとの「新しい絆」、子どもたちにとってそのどちらの絆も大切にしていきたいとの思いを込めて、命名されたものです。



せんだいメディアテーク スタジオシアター(7F)
 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
 代表電話 022-713-3171

バス: 仙台市営バス 仙台駅前-29番(庄内銀行前)のりばから「定禅寺通市役所前経由(交通局大学病院)行き(系統番号J410)」で約10分、メディアテーク前下車。

徒歩: 仙台駅より約20分(約1.8キロメートル)。

子どもの村東北について

東日本大震災以降、震災で親を失った子どもたちを支援するために、宮城県・仙台市とともに、里親会と連携した活動を開始しました。

「すべての子どもに愛ある家庭を」をスローガンに世界133か国で活動を展開する、国際NGO「SOS子どもの村」の133番目の国として2010年、福岡に「子どもの村」が日本で初めて開村しました。現在、日本SOS子どもの村のバックアップのもと、日本で2番目の「子どもの村」を東北の地で開村することを目指し、NPO法人「子どもの村東北」が設立されました。

公式ホームページ

子どもの村東北

<http://soscvtohoku.org>

日本SOS子どもの村

<http://www.soschildrensvillages.jp>

お申込み

FAX: 022-748-6931

ふりがな			所 属	
氏 名				
住 所	〒			
連絡先	TEL	FAX		
託 児	希望します	子ども	名	希望しません
	お名前	(男・女)	才	お名前 (男・女) 才
	お名前	(男・女)	才	お名前 (男・女) 才
交流会	参加します		・	参加しません

※交流会: 会費4000円程度(場所は会場近辺です)

お問合せ先

特定非営利活動法人 子どもの村東北

〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目7-30 角川ビル402号

Tel. 022-748-6936 Fax. 022-748-6931 E-mail. tohoku@soscvj.org